

4月21日～22日科学技術館サイエンスホール（千代田区北の丸公園内）、全国の科学館（年内）で上映。

応募/問い合わせ先：

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2番1号

財団法人科学技術振興財団 振興部

TEL：03-3212-8487 FAX：03-3212-0014

ホームページ：<http://ppd.jsf.or.jp/filmfest>

■会告

■第67回日本放射光学会評議員会議事録

日時：2005年9月3日（土） 14：00～16：40

場所：理化学研究所 東京連絡事務所 会議室

出席：大熊春夫，大隅一政，柿崎明人，上坪宏道，河田 洋，木下豊彦，木村真一（行事幹事），熊谷教孝，古宮 聡，坂田 誠，佐藤 繁，澤 博（渉外幹事），下村 理（会長），菅 滋正，鈴木芳生，高田昌樹（庶務幹事），田中健一郎，谷口雅樹，中井 泉，中川敦史（会計幹事），難波孝夫，野田幸男（議長），野村昌治，宮原恒昱，村上洋一，横山利彦（編集幹事），西野三和子（事務局），清水祐子（事務局）

欠席：石川哲也，上野信雄，宇理須恒雄，北村英男，桜井健次，浜谷 望，松井純爾，松下 正，圓山 裕

オブザーバー：雨宮慶幸（特別委員会委員長）

（審議事項）

1. 新入会員の承認

高田庶務幹事より，新入会員の説明があり，12名の入会と1名の条件付入会が承認された。

条件付入会の1名は再入会者で，前回在籍中の未納年会費がある為，その完納を待って正式な承認とすることとした。

2. 協賛，共催，後援の承認

澤渉外幹事より，協賛，共催，後援，協力の各依頼の説明があり，協賛9件，共催1件，後援3件，協力1件が承認された。

尚，協力依頼の「VACUM2005-真空展」の主催団体から，パンフレット送付の為，会員の送付先リストの提出を打診されたが，会員情報を学会外部に提供する事ができない由を説明し，代わりに当会HPに当会議HPへのリンクをはり，会議の内容，パンフレットの用意，配布について周知する事にした。

追加報告として，当会に求められている3件の受賞候補者推薦依頼について，再度，説明があった。

3. 次世代光源検討特別委員会報告書について

下村会長より，次世代光源検討特別委員会の経緯の説明と，8月22日に提出された最終報告書について雨宮特別委員会委員長より説明があり，審議の結果，4箇所を修正を加えることを条件に承認された。

なお，審議において，最終報告書冒頭の要旨に，1)究極を目指す光源計画 2)先端的基盤整備としての光源計画の二

項目を記すことに対し，挙手により賛成多数で可決された。特別委員会に関する経緯は以下の通り。

- ・特別委員会の提案（2月7日）メール審議
- ・第65回評議員会の承認（2月19日）
- ・特別委員会発足（3月14日）雨宮委員長以下委員17名
第1回委員会 3月22日
- ・第66回評議員会（4月2日）で状況説明
第2回委員会 4月12日（含：公開シンポジウム）
第3回委員会 4月19日
- ・中間報告書の提出（委員長から会長宛）（5月23日）
拡大評議員に提示し，意見を求める。
会員からパブリックコメントを求める。
- ・臨時評議員会で議論（7月2日）
- ・次世代光源ワークショップ（8月8日-9日）
第4回委員会 8月11日
- ・最終報告書提出（委員長から会長宛）（8月22日）

4. 先端的リング型光源計画特別委員会について

下村会長より，「先端的リング型光源計画特別委員会」設立が下記要領で提案された。委員長には，次世代光源検討特別委員会の雨宮委員長が推薦され，承認された。「先端的リング型光源計画特別委員会」の趣旨は以下の通り。

- ・特別委員会のミッション
次世代光源検討特別委員会の提言中の「先端的リング型光源計画の策定と推進にあたる事が，放射光コミュニティーにとっての緊急かつ最重要課題である」を受け，
 1. 放射光コミュニティーの要望する先端的リング光源の性能と利用研究の方向性を明らかにし，
 2. 先端的リング光源計画策定の基本的な指針を与える。
- ・全国共同利用施設として議論すべき先端的リング型光源計画
 1. 東大計画
 2. PF計画
- ・特別委員会の構成
光源開発・利用研究を今後担っていく若手会員を中心に構成（施設に所属する会員を含む。）する。
評議員より推薦された候補者の中から，会長と委員長で選出し，評議員会の承認を得る。
- ・開催計画

発足時期：2005年9月3～4回の会議を開催予定

最終報告書を評議員会に提出

5. 次期評議員選挙について

高田庶務幹事より、8月8日に行われた次期評議員本選開票結果について説明があり、15位に同票で並んだ候補に対し、細則第2章第4条4の規定に従い決選投票を行ない決定した。確定した以下の15名が承認された。

雨宮慶幸、太田俊明、大柳宏之、尾嶋正治、木村真一、小杉信博、繁政英治、下村 理、辛 埴、壽榮松宏仁、関 一彦、田中 均、藤森 淳、間瀬一彦、水木純一郎、

以上15名

6. 学会 HP のトップ頁構成について

澤渉外幹事より、進捗状況と変更の要点がモデル頁を表示して説明され、現行の方針で推進することが承認された。

7. 会員名簿の電子化について

渉外幹事より、電子化された名簿について、会員登録、変更届、検索等のシステムについて説明があり、審議の結果、英文項目（氏名、所属等）の追加の上、業者へ見積を発注することが決定された。システム稼働は年度内達成を目標とすることが確認された。

8. 第10回学会奨励賞の審査と副賞について

高田庶務幹事より、審査に関し下記の説明があり、承認された。

- ・応募者数：9名
- ・選考委員会：奨励賞規定に従い、会長を委員長として9名の委員を会長が指名。

次回評議員会までに選考委員会を開催し、3名までの受賞候補者を決定する。

同じく、副賞に関し、メダルの図案の原案の提示をもとに下記の説明があり、承認された。

- ・記念メダル（銀）を授与。
- ・デザイン：片面に、日本初の放射光スペクトル、SORの図案を刻印。

反対の面に、賞の名称、受賞者氏名、受賞年を刻印。

- ・予算：77万円/20個 程度

9. Asian Synchrotron Radiation Commission（仮称）について

澤渉外幹事より、開催準備の進捗状況の説明があり、この方向で準備を推進することが承認された。

- ・日時：2006年11月24～25日
- ・場所：茨城県つくば市
- ・会場：高エネルギー加速器研究機構3号館（予定）
- ・主催：日本放射光学会を始め、Asiaの放射光関連施設団体の共同主催 AsCA とは別開催。
- ・委員会：下村 理（組織委員長）、高田昌樹（プログラム委員長）、澤 博（実行委員長）

- ・事務局：日本放射光学会事務局

- ・会計：独立採算（原則）

事務局は日本放射光学会事務局とするが、年会との日程の絡み、及びマンパワーの観点から、実行委員会を置く KEK に実質的な事務局を置くこと、その旨、会長から KEK に依頼することが澤幹事より提案され、承認された。

また、Forum の名称は、Asian Synchrotron Radiation Com-

mission より、Asian Synchrotron Radiation Association が適当ではないかとの提案があり、検討することとされた。

10. 会誌のオンライン化について

横山編集幹事より、会誌の過去データの移行作業、検索ソフトの導入が終了し、現在、評議員と編集委員にパスワード付で試運転画面を公開の上、問題点の指摘を待っている段階であること、その後、学会のレンタルサーバ上での会員向け試運転、本公開の予定であることが説明され、これにともなうサーバの容量不足の問題に関しては、2GB 3,000円/月のレンタルサーバのレンタルが提案され、了承された。

11. 会誌のカラー印刷料金著者負担について

横山編集幹事より、第73回編集委員会（6/10）において評議員会に諮ることが議決した、現行のカラー頁料金負担の規定の修正案について説明があり、変更が承認された。

- ・現行規定：「解説」「トピックス」は学会負担、それ以外のカテゴリーは著者負担（3万円/頁）
- ・修正案：「解説」「トピックス」に限らず、その必要性を編集委員会が判断した場合は、学会で負担する。それ以外の場合は、著者負担（3万円/頁）

（報告事項）

1. 年間会計報告、予算の執行状況について

中川会計幹事より、7月末締めの中間収支表（18回年会決算を含む）が、予算執行状況として報告された。例年通り推移している事が報告された。

2. 年会の共催団体について

高田庶務幹事より、第19回年会・合同シンポジウム（於：名古屋大学）の共催団体に、立命館大学放射光生命科学センター（SLLS）の加入が承認されたことが報告された。

3. 第19回年会・合同シンポジウム（於：名古屋大学）及び、市民講座の準備状況について

木村行事幹事より、年会の準備状況（タイムテーブルを含む）、並びに市民講座の準備状況が報告された。

- ・プログラム委員長：見附孝一郎（分子研）、実行委員長：竹田美和（名大）
- ・会期：2006年1月7日（土）～9日（月）
- ・会場：名古屋大学 IB 電子情報館（愛知県名古屋市千種区不老町）
- ・参加者数、懇親会参加者数の事前把握、並びに発表申込申請時期を、従来に比べ繰り下げるためのスケジュール等の改正案を承認した。
- ・発表申込は、10月20日締切で予稿集原稿と参加登録とともに web から行う。
- ・参加費および懇親会費

| | （11月末まで） | （12月以降） |
|-----------|----------|---------|
| 会員 | 3,500円 | 5,000円 |
| 共催団体会員・職員 | 5,500円 | 7,000円 |
| 非会員 | 6,500円 | 8,000円 |
| 学生（会員） | 1,500円 | 3,000円 |
| 学生（非会員） | 2,500円 | 4,000円 |
| 懇親会費（一般） | 5,000円 | 6,000円 |
| 懇親会費（学生） | 2,000円 | 3,000円 |

- 事前登録での参加費、懇親会費の支払いは、カード引き落とし、または銀行振込で行う。
 - 予稿集は、参加証と一緒に12月15日頃に参加者に送付する。
 - プログラムは11月上旬に学会ホームページ上に掲載。学会誌「放射光」では、年会後の第19号1巻（2006年1月末発行予定）に掲載する。
 - 企画講演は、会員全体から10月7日締切で公募する。公募案内は、学会誌「放射光」第18号第4号（2005年7月末発行）に掲載する。
 - プログラムの枠組みは、前回は踏襲。オーラル会場は最大5パラレルセッションが可能（原案は4パラレルセッションを設定）。企業展示は最大50ブースが設置可能である。ポスターボードは100枚/日が設置可能である。市民講座は最終日の午後に設定（講師は調整中）する。
 - 企業展示への出展の勧誘を確認した。
 - 第20回年会・合同シンポの開催は、広島市内で広島大学 HiSOR による開催を決定した。
4. 次世代光源計画ワークショップの報告
木村行事幹事より、第2回若手ワークショップ「次世代光源計画ワークショップ-未来光源が開くサイエンス-」が開催されたことについて報告があった。
- 会期：2005年8月8日(月)～9日(火)
 - 会場：自然科学研究機構 岡崎コンファレンスセンター 小会議室
 - 参加者数：65名（講演者含む）
 - CREST, ERATO からの助成金、並びに分子研の共催による助成があった。
5. 会員の状況、並びに会誌広告の状況
高田庶務幹事より、会員の異動について報告があり、前述審議をへて、13名の入会（内、1名は条件付）、並びに、20名の退会、1名の逝去（名誉会員）が報告された。
入会者内訳：一般正会員10名（内1名条件付）、学生会員3名。退会者内訳：一般正会員10名、学生会員10名。逝去者（名誉会員）1名。
8月17日現在の会員数内訳：一般正会員1,110名、学生会員166名、賛助会員53社（58口）
会誌広告については、各号20社前後で推移していることが報告された。
6. 会誌の発行状況について
横山編集幹事より、会誌の発行状況について報告があった。
7. 次回評議員会開催予定
第68回2005年11月26日(土) 14:00-16:00
於：理研東京連絡事務所 会議室（東京 丸の内）